

2027年3月期 第1四半期
決算説明資料



全保連株式会社

A member of  MUFG

2026年8月

東証スタンダード

5845

主要
ポイント

- MUFGとのシナジー効果実現等により業績堅調、2026.7.29付で業績予想を上方修正（P4ご参照）。
- 1Qは売上高・営業利益以下が過去最高を更新。業績修正後も営業利益の進捗率は28.0%となお好調。
- 株価も堅調で、2026.7.31現在の時価総額も過去最高の312億円に到達。

【損益計算書】				【主な指標・トピック等】			
(単位：百万円)							
	26/3期1Q	27/3期1Q	進捗率		26/3期1Q	27/3期1Q	増減
売上高	6,511	6,690	24.4%	株価（円）	828	1,001	173
売上原価	1,781	2,011	－	時価総額（百万円）	22,001	26,680	4,678
売上総利益	4,730	4,678	－	PBR（株価純資産倍率）※2	3.1	3.4	0.2
販売費及び一般管理費	3,793	3,558	－	ROE（自己資本利益率）※3	35.5%	38.5%	3.1%
営業利益	937	1,120	28.0%	年間1株配当予想（円）	40.0	54.0	14.0
経常利益	933	1,116	27.9%	2026.5：長期計画上方修正、4年後の時価総額目標669億円。			
税引前四半期純利益	889	1,116	－	2026.6：当社として初の個人投資家向け説明会開催。			
四半期純利益	612	751	26.8%	2026.6：監査等委員会設置会社へ移行、ガバナンスを強化。			
【ポイント】				【ポイント】			
① MUFGシナジー効果等により売上・利益ともに過去最高を更新。				③ 堅調な業績等を背景に株価上昇、PBR・ROEも改善。			
② コスト構造変化※1で原価は増加するも販管費は大幅に減少。				④ ガバナンスも強化、IRや株主還元も充実。			

※1 信用コスト平準化による四半期毎の収益のブレ抑制も含む。

※2 期末発行済株式数ベース ※3 利益は年換算ベース

主要
ポイント

- 潤沢な現預金と純資産を擁し、実質無借金で金利上昇にも耐え得る強固なバランスシート。
- 不良債権予備軍の圧縮を実現する一方、十分な貸倒引当金も計上し、盤石な財務内容を堅持。
- 2026.12.21付で本社移転予定（P11ご参照）。不要不急の投資は行わず引き続き賃貸物件に入居。経営資源を本業に集中する堅実経営を貫くことで更なる企業価値向上・株主還元強化を図る方針。

【貸借対照表】(単位：百万円)

26/3期1Q 27/3期1Q 増減				26/3期1Q 27/3期1Q 増減			
現金及び預金	7,890	9,484	1,594	短期借入金	900	0	▲ 900
求償債権・家賃立替金	7,239	6,623	▲ 616	保証履行損失引当金	752	687	▲ 64
貸倒引当金	▲ 3,951	▲ 3,900	51	前受金	10,847	11,001	153
その他流動資産	5,339	5,463	124	その他流動負債	2,821	3,854	1,032
流動資産	16,517	17,670	1,153	流動負債	15,322	15,543	221
有形固定資産	369	304	▲ 65	固定負債	77	302	224
無形固定資産	892	1,033	140	負債合計	15,399	15,845	445
繰延税金資産	3,701	3,861	160	資本金	1,717	1,730	12
その他固定資産	828	773	▲ 55	その他	5,192	6,068	875
固定資産	5,792	5,972	180	純資産合計	6,910	7,798	887
資産合計	22,309	23,643	1,333	負債純資産合計	22,309	23,643	1,333
流動比率	107.8%	113.7%	5.9%	自己資本比率	31.0%	33.0%	2.0%
①現預金増加、M&AやAI等への積極投資の原資へ。				③実質無借金で金利上昇への耐性あり。売上原資である前受金も増加。			
②売上増も求償債権・家賃立替金（不良債権予備軍）は減少。				④純資産も大幅に増加、強固な財務基盤確立。			

業績予想及び期末配当予想の上方修正（2026.7.29開示）

主要
ポイント

■ 優良先との取引に経営資源を集中し、三菱UFJカードプラン等の高付加価値商品の販売に注力。
 ■ 審査高度化・回収強化を進め、求償債権残高の減少トレンド定着、信用コストを継続的に低減。
 ■ IT・AIを活用した業務のデジタル化・効率化により、経費を想定以上に削減。

【通期業績予想】

【単位：百万円】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
当初予想（A）	27,416	3,530	3,532	2,524	96円46銭
修正後予想（B）	27,416	4,000	4,000	2,800	107円00銭
増減額（B－A）	0	469	467	275	－
増減率（％）	0.0％	13.3％	13.2％	10.9％	－
（参考）前期実績	26,188	3,173	3,178	1,728	66円06銭

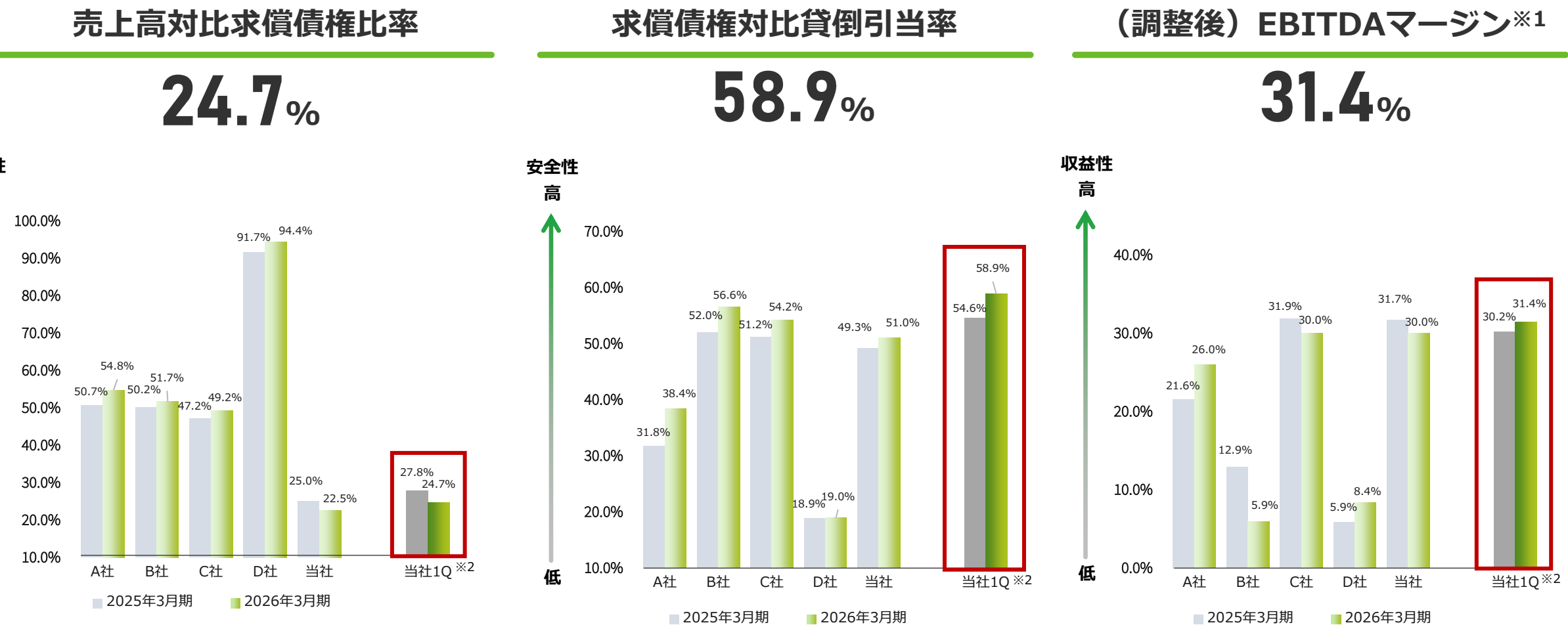
【配当予想】

	1株当たりの配当金		
基準日	第2四半期	期末	合計
当初予想（A）	－	48円00銭	48円00銭
修正後予想（B）	－	54円00銭	54円00銭
増減額（B－A）	－	6円00銭	6円00銭
増減率（％）	－	12.5％	12.5％
（参考）前期実績	－	40円00銭	40円00銭

ポイント

■ 求償債権（不良債権予備軍）を着実に削減、十分な引当も実施し、圧倒的な安全性を実現。

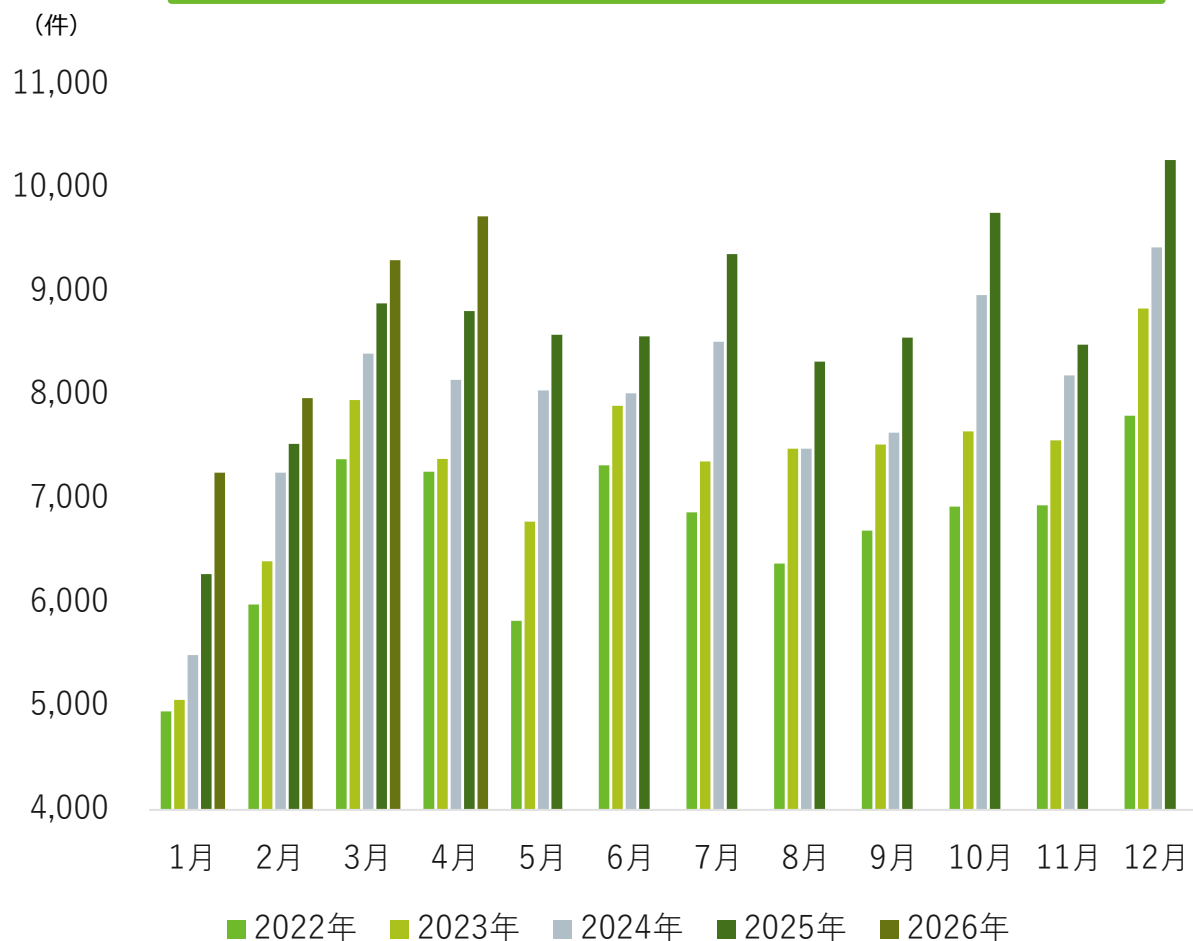
■ 加えて、実質的な収益力も業界トップ水準を堅持し、盤石な財務内容を確立。



ポイント

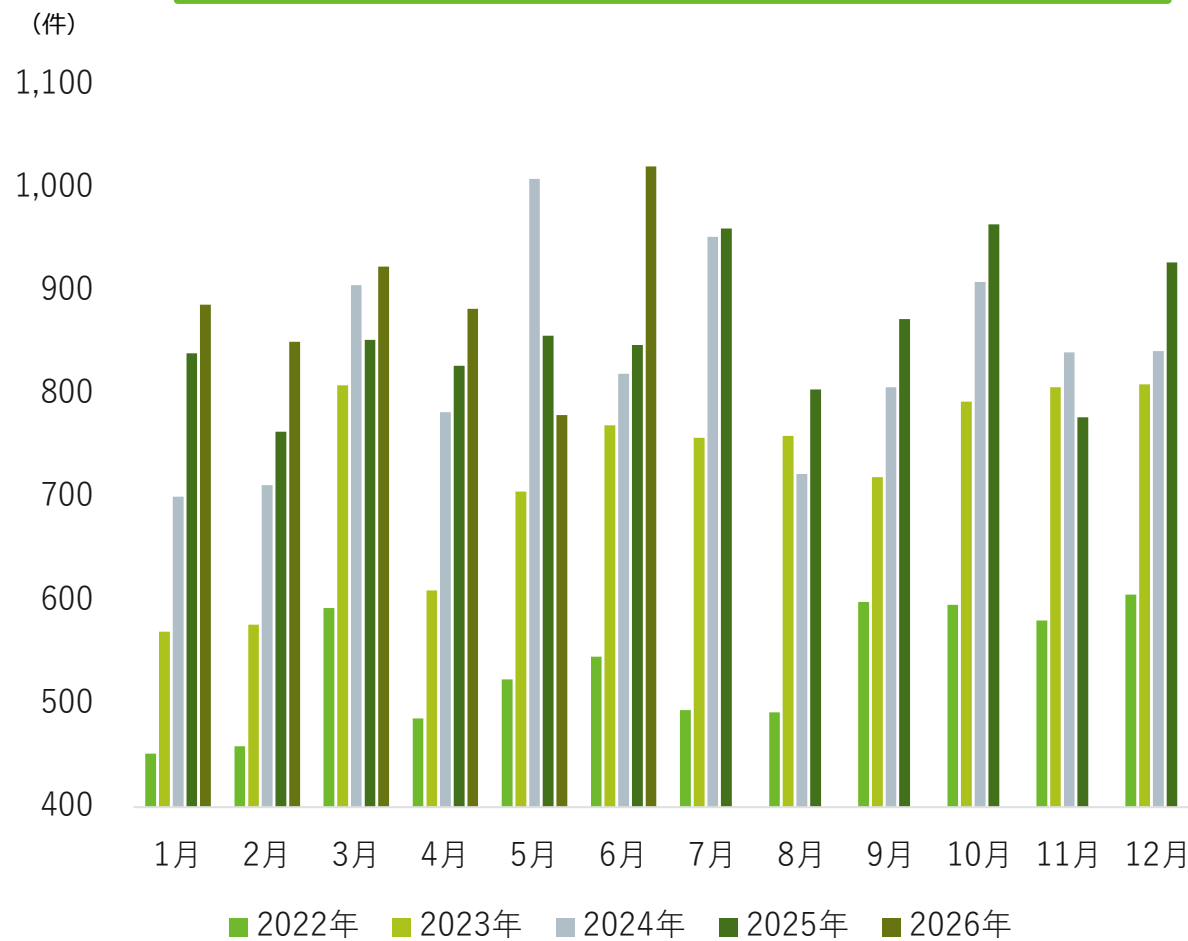
- 景気は改善、賃料も増加傾向にある反面、個人再生・破産件数や企業倒産件数は着実に増加。
- 個人・中小企業顧客が中心の家賃保証業界にとっては、厳格な債権管理が極めて重要な時代。

個人再生・破産件数（裁判所 司法統計）



出典：最高裁判所：司法統計

企業倒産件数（TSR）



出典：東京商工リサーチ（TSR）：全国企業倒産状況

ポイント

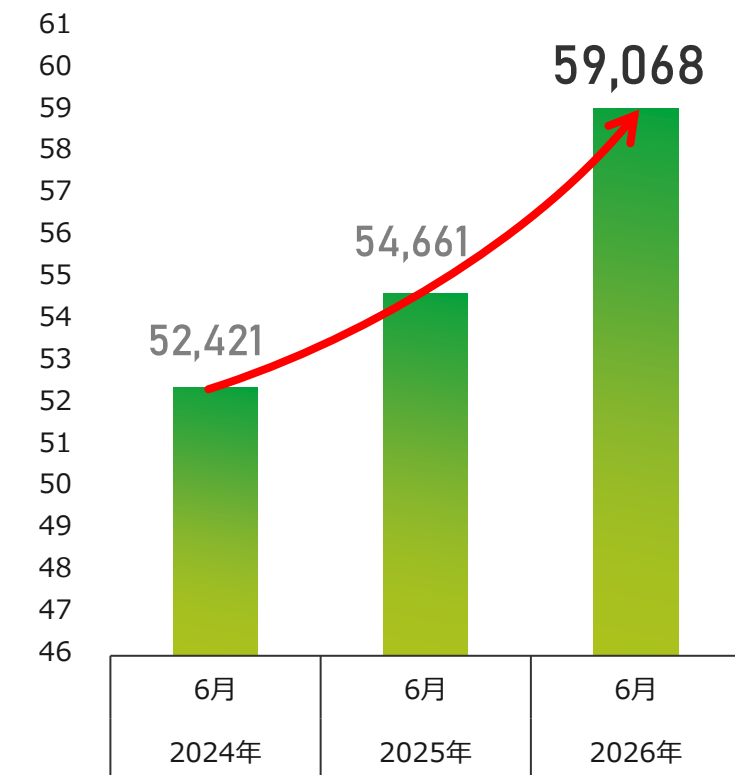
■ 協定会社拠点数・累計家賃債務保証契約件数ともに順調に増加。

協定会社拠点数

2025年6月末からの増加数

+4,407 拠点 (+8.1%)

(千拠点)

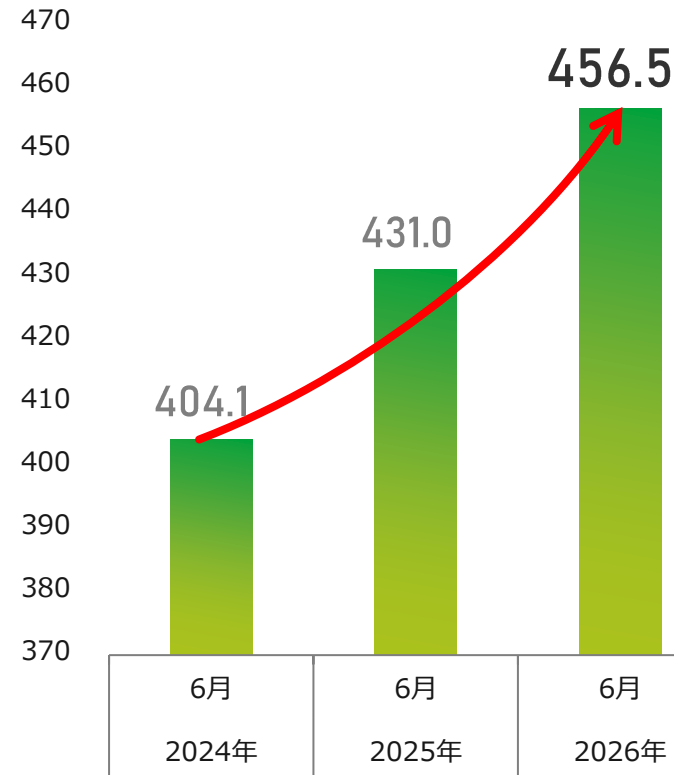


累計家賃債務保証契約件数

2025年6月末からの増加数

+25.5 万件 (+5.9%)

(万件)

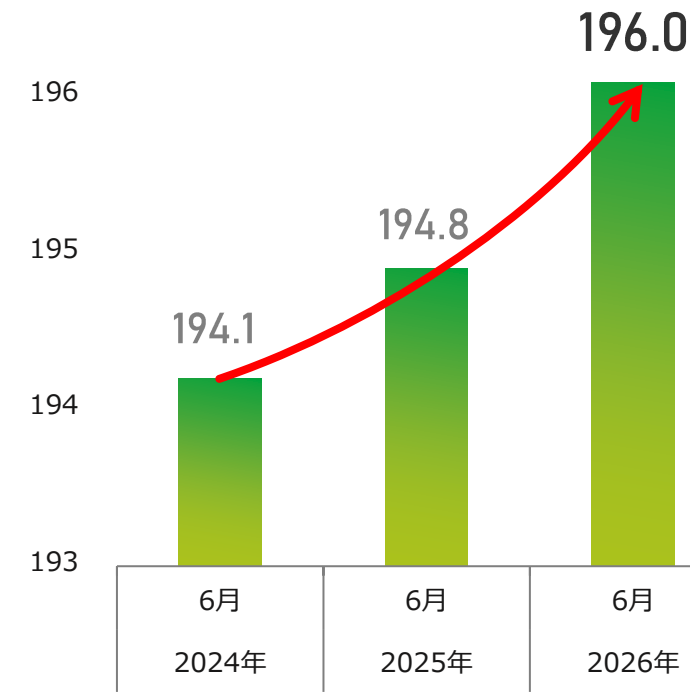


保有契約件数

2025年6月末からの増加数

+1.1 万件 (+0.6%)

(万件)



ポイント

- 審査精度を表す「早期入金控除後30日期間代位弁済率」※1は良好な水準を維持。
回収力を表す「代位弁済回収率」は更に改善。

早期入金控除後30日期間代位弁済率※1

0.44%
(前年同期比 + 0.15pt)

代位弁済回収率

96.99%
(前年同期比 + 0.56pt)

審査・回収の高度化により不良債権予備軍である求償債権・家賃立替金を削減。

※1：当社が開発した審査精度を測定する指標。

一定期間内に契約した案件について、初回賃料支払日に代位弁済が発生し且つ30日以内に入金の無かった件数を当該期間内の契約件数で除して算出。

ポイント

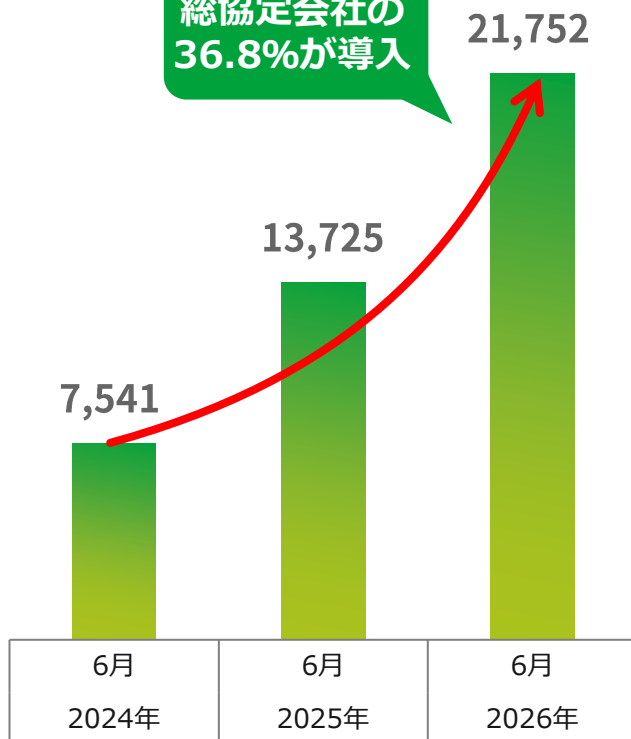
- Z-WEB2.0の導入拠点数は、昨年対比1.6倍に伸長。
- 電子申込率、電子契約率ともに順調に増加、電子化・業務効率化が進展。

Z-WEB2.0 導入拠点数

2025年6月末からの増加数

+ **8,027** 拠点

総協定会社の
36.8%が導入

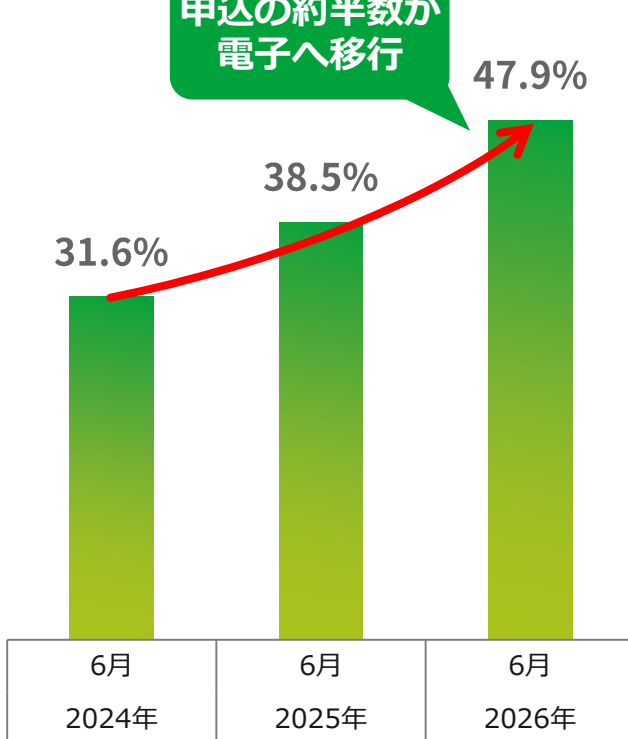


電子申込率

2025年6月末からの増加幅

+ **9.4**pt

申込の約半数が
電子へ移行

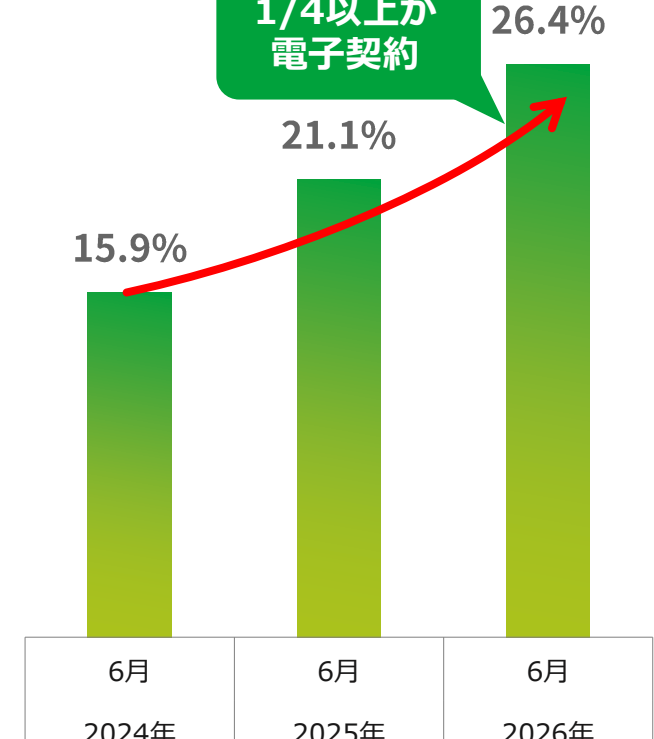


電子契約率

2025年6月末からの増加幅

+ **5.3**pt

1/4以上が
電子契約



トピックス

那覇ポートビル※1へ本社移転

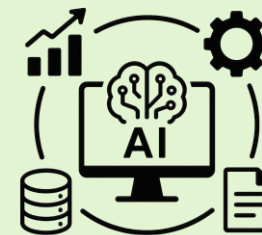
県内・県外からの
アクセス良好！



優秀な人材を招致！



IT・AIを駆使した
柔軟な働き方！



コミュニケーションが
活性化！



賃借人様の快適な生活をサポートするサービスを提供



賃借人様との継続的な接点を創出し、顧客基盤の強化を推進

個人投資家説明会（東京）実施



登壇者：代表取締役会長兼社長執行役員 茨木 英彦
東京都新宿にて

個人投資家様のお声

リーダーシップ・ビジョン・
社長の意気込み、
近年久しぶりにパワーを感じた

三菱UFJグループがバックにいると
信用力は大きいと感じた

5年連続決勝進出という偉業を達成

- 2021-22シーズン
B.LEAGUE 準優勝
B.LEAGUE 西地区 **優勝**
- 2022-23シーズン
B.LEAGUE **優勝**
B.LEAGUE 西地区 **優勝**
- 2023-24シーズン
B.LEAGUE 準優勝
第99回天皇杯 準優勝
東アジアスーパーリーグ グループステージ3位
- 2024-25シーズン
B.LEAGUE 準優勝
第100回天皇杯 **優勝**
B.LEAGUE 西地区 **優勝**
東アジアスーパーリーグ FINAL4初進出
- 2025-26シーズン
B.LEAGUE 準優勝
東アジアスーパーリーグ 3位



琉球ゴールデンキングス
マスコット ゴーディー



2026年8月3日 当社沖縄本社にて
左から、安永GM、小野寺選手、当社茨木社長、脇選手

本資料は、全保連株式会社の業績見通しが記載されております。

業績見通しの記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、実際の業績は様々な要素により業績見通しとは異なる可能性があります。

IRに関するお問い合わせ



全保連株式会社

経営企画部

E - mail ir-info@zenhoren.co.jp

電話番号 050-3124-6500